

逝く夏

詞 奥田 祐子 曲 奥田 祐子



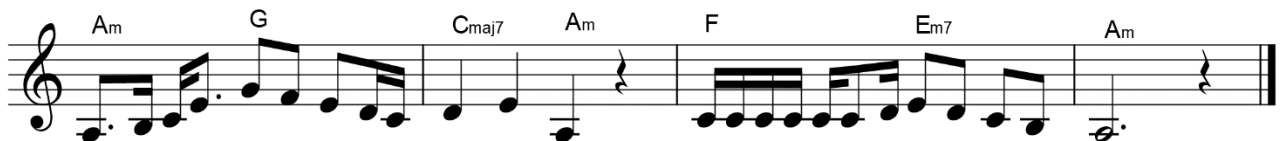
ひぐらしのこえくれていくやま 照りつけるひざしは どこにもない



胸を焦がしたあなたとの夏 あきらめきれずに吹く風 いえな



かったおもいだせな かったてがみ ゆくな つよつれていって



どんなに傷ついていても あなたにあえてよかった

1 ひぐらしの声 暮れていく山
照りつける日差しは どこにもない
胸を焦がした あなたとの夏
あきらめきれずに吹く風
言えなかった想い 出せなかった手紙
逝く夏よ 連れて行って
どんなに傷ついていても
あなたにあえてよかった

2 ほろ苦く 甘い気持ちで
思い出せるのは いつの日だろう
新しい自分 見つけられた
あえたのがあなただったから
この胸の痛み 苦しかった日々
逝く夏よ 連れて行って
もう二度とふりかえらないけど
あなたにあえてよかった